

3  
月号

# いっしん

令和8年(2026年)

第489号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

甘木親教会  
初代教会長  
安武松太郎師御款

子孫が  
祖神に仕へむ  
道しるべ  
立て初めにけり  
今日のみ祭

立教167年／小倉教会布教141年／甘木親教会布教122年／加治木教会布教75年



開聞岳と池田湖と菜の花畑

写真・大重為映氏

## 親神様手造りの

### 絶景の中で

鹿児島県では「指宿菜の花マラソン」が三月初旬に開催され、共に県内外から一万人以上の参加者があり、春の風物詩となっています。

テレビで参加者の声として「雄大な景色を見ながらのマラソンで元氣な心で走れました」「沿道のおもてなしや応援が励みになりました」という声が聞かれました。

まさに、指宿の開聞岳もふもとに広がる池田湖や菜の花畑、桜島と錦江湾、天地の親神様が手作りでお作りになられたこの絶景を感謝と喜びの心で見ていることができるのは、どんなに尊い幸せなことでありましょうか。

「おれさま、知った信徒の方が「私も走ってきます！」と聞くことがあります。二十歳前後の頃ならば私も走っていたのにと、心の中で一人つぶやき心躍る一日となります。(教会長)

加治木教会

# 報徳祭

矢野政美大人・サダ子大刀自

例年祭 仕えられる

寒のお恵みが長く続き、体調を壊される高齢者がつづく二月二十二日(日)、加治木教会では報徳祭、引き続いて矢野政美大人・サダ子大刀自の例年祭が仕えられました。

近くの天神様(菅原神社)のたくさんの梅の木は、寒のお恵みが長くつづいたため、一月中旬から二月末までゆっくと、ぽつぽつと咲き続け長く目を楽しませてくれました。

報徳祭前日の御用は、少なめの御用奉仕者でしたが「健康に十分気を付けて無理のないように準備を進めてください」との教会長あいさつで始まりました。

二十二日の報徳祭には、元気な少年少女会員や若者の参拝があり、慣れない御用も協力しながら進められました。

ご教話は、梅木博光先生(多良木

教会長)で「家族を練習帳にしての信心の稽古」という内容のお話でした。(方はお申し出ください)



ご祭典 神前拝詞奉唱



少年少女会 その①



少年少女会 その②



ご教話 梅木博光先生(多良木教会長)



青年会



信徒総代



前日御用

「私のいただく安武松太郎師」を読んで  
矢野クラ刀自の諭された

「覚悟」とは

矢野政美大人が、加治木布教に取り組まれて三年目に「食うつ食わんつじやなかつたばい、食わんつ食わんつじやつたばい」というような布教困難に立ち至り、加治木での布教を断念しようとされた時、甘木親教会に進退を伺い、実家に立ち寄り、母堂矢野クラ刀自にそのことを打ち分けられました。

すると矢野クラ刀自は「あんたが商売か何かであれば、ここでは思うように行かないから、他の所に代わるということもよからうが、お道の御用というものはそんなものではないかろうと思う。あんたは甘木を出る時、加治木の土になしていただくという決心で行ったのではなかったのですか。その決心はどうしました。加治木で打って鳴らぬ太鼓は、どこで打っても鳴りません。それを鳴らすうと思えば、太鼓のバチが折れるまで、皮が破けるまで打たせていた

だけば、必ず鳴ります。あんたが一生かかって道が開けんでも良いではないね。あんたが死んだのち、後を継いでくださる人が継ぎやすいようにしておけば、それで良いではないね」と諭されています。

\*



晩年の矢野クラ刀自と矢野仁吉郎翁

「加治木の土になしていただくという決心」で思い当たるのは、九州開道の祖 桂松平先生が明治十八年に九州布教に赴かれる時に四神様二代金光様から「九州には死に行く

のぞ。小倉の土になれ。泥になれ。一日早う行けば一日早う氏子が助かる」というみ教えです。

\*

また、「太鼓のバチが折れるまで、皮が破けるまで打たせていただけば」というのは「決死の覚悟」で太鼓を打ちなさいと、見誤ろうとしているお道の御用に対する「覚悟」をうながされたものでありましょう。

この「覚悟」の内容は、恩師安武松太郎師が、布教間もない頃、居間の裏側に茄子の苗を二十本ほど植えられた時、落着かぬ思いがされ「死を覚悟しながら、このようなことをしているのは、自分の力だけで生きようとしていることになるのではないか。これはまちがいであった」と気づかれ、その茄子の苗をぜんぶある信者の方によってしまわれ「自分の生活を自分で計らうことはいいたしません」と、ご無礼をお詫び申し上げておられますが、このみ教えの中に現わされている「人が助からず道が立たねば自分は死ぬまで」という「決死の覚悟」とも一致するよう

に思われます。

\*

矢野クラ刀自は、恩師安武松太郎師が、布教の原点を思い出された時に熱く語られていた「九州には死に行くのぞ。小倉の土になれ。泥になれ」という桂松平先生の不退転の決意と「人が助からねば死ぬまで」という甘木布教当初の茄子の苗工ピソードのみ教えに込められたご覚悟をどれほど真剣に聴いてあったか、そしてご自分の心に刻んで同じ心で、このお道の信心を頂いて行きたい、進めて行きたいという願いが強かったということの現われと言えるでしょう。

その思いや祈りや信心が、イザ自分の息子が布教困難で、道を見誤ろうとしている時に心中の信心の引出しから出して「この『覚悟』が今のあなたには一番必要なものではありませんか」と提供してくださったように思えてなりません。

私たちは、当たり前のように、たくさんのおみ教えを聴かせていただいています。矢野クラ刀自のようにイザという時に自分の言葉で、諭す

言葉として出てくるように、何度も聞いたことのあるみ教えをいつも新たな心でシツカリと頂きなおし、牛が一度食べたものをふたたび噛みなおすように反芻し、思い出しては感動・感激・喜びをいつも新たにしておかなければならないと思わされま

す。  
(教会長)

あしあと

加治木教会行事記録

2月

- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (火) 甘木親教会参拝日
- 4 (水) 甘木親教会初代立日御祈念 11時
- 5 (木) 6 (金) 教区委員会 (教区本部)
- 7 (土) 記念祭実行委員会 19時半
- 8 (日) 多良木教会 報徳祭 11時
- 9 (月) 清掃御用 10時
- 10 (火) ●月例祭 10時半
- 11 (水) 矢野政美大人立日御祈念 11時
- 12 (木) 教誨御用 13時20分
- 14 (土) 上棟式 (星原家)
- 17 (火) ●甘木親教会 報徳祭 11時
- 18 (水) 甘木親教会「同釜会」
- 21 (土) 清掃御用 10時
- 22 (日) ●加治木教会 報徳祭 11時
- 28 (土) 清掃御用 10時

ご霊神様のおまじり

三月

- 川畑ツネ 之霊神 (1日) 昭和44年
  - 中野サ子 之霊神 (1日) 平成13年
  - 永原スミ子 之霊神 (1日) 平成20年
  - 有蘭トシ 之霊神 (2日) 平成26年
  - 内村源二 之霊神 (3日) 平成5年
  - 野口益三 之霊神 (5日) 平成26年
  - 信國幾雄 之霊神 (6日) 昭和42年
  - 大山定二 之霊神 (7日) 昭和61年
  - 荒木美至 之霊神 (7日) 平成18年
  - 本中野重則 之霊神 (12日) 平成24年
  - 矢野クラ 之霊神 (13日) 昭和31年
  - 松田モト 之霊神 (15日) 昭和62年
  - 信國徹志 之霊神 (18日) 昭和52年
  - 松田セイ 之霊神 (20日) 昭和18年
  - 前田広実 之霊神 (21日) 昭和36年
  - 瀬尾田鶴子 之霊神 (22日) 平成30年
  - 吉屋茂樹 之霊神 (25日) 平成4年
  - 津上陸奥 之霊神 (29日) 昭和53年
  - 本中野金四郎 之霊神 (30日) 昭和4年
  - 市来キヨ 之霊神 (31日) 令和2年
  - 柳園ヨシ 之霊神 平成25年
- 「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。  
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前で霊祭をお仕えし、玉串の奉てんを準備しています。

「改まりの願い」（加治木教会）

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

ご安心いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただくこう。

「改まりの願い」は『安武松太郎 教話集 第十集』に示されている恩師安武松太郎師のみ教えされたご信心の内容を要約したものです。

### 感 詠（教会長）

天地の恵みに礼ぶことよりも

目先のことを願いがちなり

立日なり寒の厳しい日でありた

ことが写真に残されており

寒き冬このまま超えて行けるかと

思うことある歳を恵まれ



## 記念祭実行委員会

開かれる

二月七日（土）夜、若い信徒が集まり、五月十七日（日）に迎え奉る、加治木教会布教七十五年記念大祭の準備についての話し合いがなされました。

これまでの記念祭は、現在八十才前後の皆さんが中心となって御用されていますが、このたび「親に代わって教会のことに関わらせてもらわねばならないと思って」ということで出席されていました。

布教七十五年記念大祭が、親から子へ、信心のバトンタッチができる、尊い節となり、神様・霊様にお喜びいただけると有り難いことです。

寒中一斉信行  
甘木親教会初代立日御祈念

加治木教会では、二月二十六日から二月六日にかけて「報徳祭奉迎・寒中一斉信行」が設けられ、午前十一時から、御祈念を仕え、御本部の信行期間の教話や、昨年の北九州教区信徒大会での教話をユーチューブで聴かせていただきました。

二月四日の、甘木親教会初代親先生の立ち日には、少し多めの参拝があり研修をさせていただきました。



三月二十日(祝・金)午前十時半より

# 春季霊祭 奉仕

一〇祭典後、教話

※霊祭申込用紙をお結界にお届け下さい。

三月十四日(土) 13:00・十五日(日) 10:00

# 典楽講習会

鹿児島 教会にて

参加費 土曜のみ 1,000円  
両日・日曜のみ 1,800円

※箏・箏・龍笛・笙などに

チャレンジしてみませんか？

三月二十八日(土)〜二十九日(日)

天地金乃神様

# 御本部御大祭 参拝

出発 二十八日 午前八時

帰着 二十九日 午後九時頃

※交通機関 レンタカー

四月一日(水) 午前十時半より

月例祭に併せて

# 勸学祭 奉仕

健康な成長と学業成就の、御礼と

お願いを申し上げます。

※参拝の少年少女にはお直会があります。

## 教会行事

3月

- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (火) 甘木親教会参拝日
- 4 (水)〜5 (木) 教誨師会研修会(こ本部)
- 8 (日) 宅霊祭(竹之内家/中野家) (リモート参加)
- 9 (月) 清掃御用 10時
- 10 (火) ●月例祭 10時半
- 13 (金) 矢野クラ刀自立日 御折念 十時
- 14 (土) 15 (日) 典楽講習会 鹿児島 教会
- 19 (木) 清掃御用 10時
- 20 (祝・金) ●春季霊祭 10時半
- 22 (日) ●月例祭・共励会 13時半
- 28 (土) 29 (日)
- 31 (火) 清掃御用 10時

●御本部天地金乃神御大祭 参拝

4月

- 1 (水) ●報徳月例祭 10時半
- 併せて 勸学祭
- 3 (金) 甘木親教会参拝日 10時半
- 4 (土) 中村家霊祭
- 記念祭実行委員会 19時半
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半
- 11 (土) 12 (日) 甘木親教会 青年の集い
- 12 (日) 多良木教会御大祭 11時
- 15 (水) 連合会執行部会 十時半、鹿児島教会
- 引き継ぎ(連) 青少年育成企画会議
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭・共励会 13時半
- 25 (土) 甘木親教会 御大祭
- 30 (木) 清掃御用 10時
- ※5月23日(日) 人吉教会 御大祭 11時

四月十一日(土)〜十二日(日)  
甘木親教会  
青年のつどい 集合 十一日 十七時  
解散 十二日 十二時

